平成24年度 予算のあらまし





平成24年度 予算のあらまし 精華町の財政状況公表資料

もくじ

予算のおはなし	
	1~6
平成24年度に予定される主な町民一人あたりでする。	事業 7~16
町民一人あたりでみる今年の芸精華町の中期野野日本	予算17~20
精華町の中期財政見通し	21~22



ふるさとは ここ精華町と誇れるまち

予算のおはなし



支出編

厳しい財政状況の中、多額の貯金を取り崩してつくりました

平成24年度施政方針の実現

- 命を大切にするまちづくり
- ●将来に希望の持てるまちづくり
- 住民が主役のまちづくり





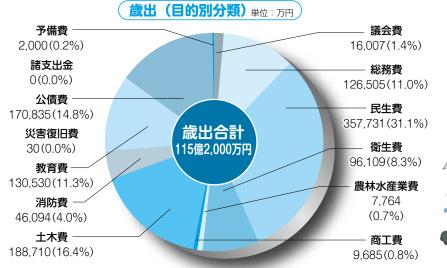
精華町の今年の予算 115億2,000万円

)—

まずは支出を見てみよう!

🔃 今年の収入は、どんな分野(目的)に使われるのかな?・・・・・・・

A 精華町の支出を、福祉、教育、消防などの目的別に分類すると下記グラフのようになります。(これを目的別歳出予算と呼んでいます。)



◆用	語館	经单
₩ ло	00 r	3+0/6

議会費	町議会の運営に要する経費です。
総務費	町の全般的な管理経費や地域振興などの各種イベントの開催経費、選挙などの経費です。
民生費	高齢者、障害者、児童福祉など、住民福祉の増進に係る経費です。
衛生費	健康診断や予防接種などの保健衛生関係、ごみ処理などの環境衛生関係の経費です。
農林水産業費	農業の振興、農地改良などに係る経費です。
商工費	商工業や、観光振興などに係る経費です。
土木費	道路や河川の改良・維持管理に要する経費のほか、区画整理や都市計画のための経費です。
消防費	住民の生命や財産を守るための救急活動や消防活動のための経費です。
教育費	学校教育や生涯学習、生涯スポーツ、文化財保護などに係る経費や、図書館運営に要する経費です。
災害復旧費	台風、地震などの災害により被災した施設の復旧に係る経費です。

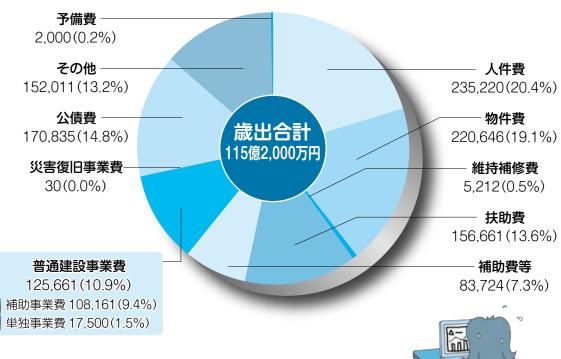
公債費 事業を行うために町が借り入れた借金の返済金です。

諸支出金 他の支出に含まれない経費をまとめたものです。予備費 緊急に支出を必要とする場合に備えた経費です。

まちの温量

A 精華町の支出を、人件費や物件費などの性質別に分けると、下記グラフのようになります。(これを性質別歳出予算と呼んでいます。)

歳出(性質別分類)単位:万円





◆用語解説

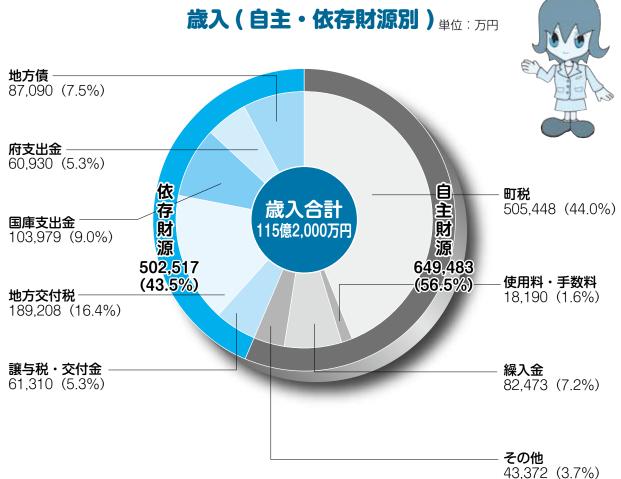
人	件費	職員の給料などに係る経費です。
物	件費	光熱水費、消耗品費、通信運搬費などです。
維	持補修費	施設の維持管理のための経費です。
扶	助費	児童手当、乳幼児・高齢者・重度心身障害者などの 福祉サービスに係る経費です。
補	助費等	個人や団体などに助成する補助金や一部事務組合な どに対する負担金などです。
普	通建設事業費	道路や学校などの建設や大規模改修など都市基盤の 整備に係る経費です。
	補助事業費	普通建設事業費のうち国からの補助があるもの
	単独事業費	普通建設事業費のうち国からの補助がないもの
炎 !	害復旧事業費	台風、地震などの災害により被災した施設の復旧に 係る経費です。
公債費		事業を行うために町が借り入れた借金の返済金で す。
その他		積立金、貸付金、繰出金等の経費です。
子	備費	緊急に支出を必要とする場合に備えた経費です。





次に収入を見てみよう!

- - 🔼 大きく分けると、町が自主的に調達できる自主財源(56.5%)と、国や府を通じて 一定の基準や割り当てにより配分される依存財源(43.5%)があります。

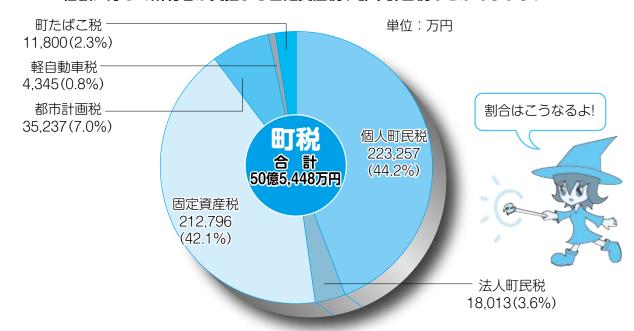


◆用語解説

	自主財源	町が自主的に調達できる収入のことです。
	町税	みなさまから精華町に納めていただいた税金です。
	使用料・手数料	町の施設の利用や証明書を発行する際にいただいているお金です。
	% 1 △	一般会計や特別会計、基金などの会計間の移動を伴うお金で、他の会計や基金
	繰入金	などから入ってくるお金です。
	その他	寄附金、不動産の売り払いなどの財産収入、前年度からの繰越金などです。
	依存財源	国や府を通じて一定の基準や割り当てにより配分される収入です。
	譲与税・交付金	自動車重量税、地方道路譲与税、利子割交付金、地方消費税交付金などです。
	地方交付税	国が徴収する税金(所得税・法人税・酒税・消費税・たばこ税等)の中から
		町の財政需要に応じて交付されるお金です。
	国庫支出金	国からの補助金や負担金です。
	府支出金	京都府からの補助金や負担金です。
	地方債	銀行などからの借り入れ(借金)です。

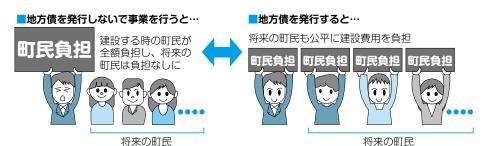
まちの温鉛盤

🔼 町税には課税の方法や対象により種類があります。収入の状況に応じて町民が負担す る町民税、法人事業者が利益などに応じて負担する法人町民税、土地や家屋などの評 価額に応じて所有者が負担する固定資産税や都市計画税などがあります。



🔃 なぜ、借金(地方債の発行)をするの?・・・・・

🔼 町が借金(地方債を発行)する理由としては、主に2つあげられます。1つは学校や 道路など公共施設の建設費には一度に多額の費用がかかるためです。もう1つは、こ れらの公共施設は何十年と使用するものであり、現在税金を納めている町民のみなさ まだけでなく、将来使用する町民のみなさまにも公平に負担していただくためです。



●平成24年度の都市計画税は、こんな事業に使う予定です。

(単位:万円) H24事業費 H24充当予定額 狛田駅東特定土地区画整理事業 31.885 788 23,937 都市計画事業充当地方債償還金 23.937 公共下水道事業(一般会計からの繰出金) 68.947 10.512 合 計 124.769 35.237



都市計画税は快適で住みよい街づくりのために、都市計画事業や土地区画整 理事業を行う費用の一部にあてるための目的税として課税される税金です。

都市計画税は、都市計画道路などの交通施設、下水道、公園といった都市施 設の整備を推進するうえで重要な財源となっています。

「基本的なギモンだけど…。」



予算についての いろいろなギモ ンについてお答 えします。

○ 精華町の全体の予算の規模ってどのくらいあるの?・・・

🖪 平成24年度の精華町の予算は、一般会計では115億2.000万円、上下水道や国民健康保険などの 特定の事業を行う8つある特別会計を合わせた町全体の予算総額は201億1.973万円です。

一般会別及び特別会別の予算規模(当初予算)

	会	計	名	称	24年度	23年度	増 減	増減率
	_	般	会	計	1,152,000	1,322,000	170,000	▲ 12.9
	国民健康	東保険等	事業特別	別会計	291,759	277,029	14,730	5.3
特	後期高團	命者医療	療特別:	会計	28,271	26,564	1,707	6.4
	介護保險	食事業物	寺別会	Ħ	188,514	194,423	5,909	▲ 3.0
別	介護サー	-ビス	事業特別	別会計	2,422	2,534	▲ 112	4 .4
	簡易水道	道事業特	寺別会	Ħ	2,738	2,309	429	18.6
숲	公共下水	K道事業	美特別 :	会計	183,488	173,021	10,467	6.1
	国民健康	東保険病	院事	業特別会計	14,748	19,272	▲ 4,524	▲ 23.5
計	水道事業	美特別会	計		148,033	149,391	▲ 1,358	▲0.9
	八			計	859,973	844,543	15,430	1.8
	合			計	2,011,973	2,166,543	▲154,570	▲ 7.1

いろいろな 予算がある んだね



平成24年度は、これまでの行財政改革の取り組みを継続するなかで、選択と集中型への転換 の強化を図り、国の財政危機に対応できる行財政基盤の強化に努めながら、子育て、教育、医 療、介護、防災などの多様化するさまざまな行政課題に対応することや、懸案課題となっている 重点化施策などの具現化に向けて各事業を推進していく考え方を基本として予算の編成を行いま

前年度と比較すると、一般会計では前年度の132億2千万円に対して17億円の減少(12.9% 減)となり、予算総額では前年度216億6,543万円と比較して15億4,570万円の減少(7.1% 減)となりました。一般会計の予算規模が前年度より減少している要因としては、平成23年8月 に開所した新ほうその保育所の新築工事が平成23年度前期で完了したことや、子ども手当給付 制度の見直し、平成24年度への繰越事業として進めている消防本部の救助工作車の更新事業、 平成23年度に実施した縁故債(銀行等引受債)の借換えなどがあげられます。

今年度の予算においては、「命を大切にするまちづくり」を推進するため、精華中学校の校舎 改築にかかる基本設計(1,500万円)、消防庁舎の建替にかかる基本設計(1,000万円)、その ほか消防団小型ポンプ積載車の更新(550万円)などを計上しています。また、「子育て支援」 を推進するため、小学校卒業までの通院医療費無料化の継続など子育て支援医療費助成事業(1 億3,600万円)、放課後児童クラブ運営事業(9,700万円)などを計上しています。さらに、 「将来に希望のもてるまちづくり」を推進するため、環境・エネルギー対策として、個人の電気 自動車導入補助金制度の創設(100万円)、公用車更新にあわせて導入する電気自動車の導入経 費(300万円)、ごみ収集車の更新(ハイブリッド車予定)(1,200万円)を計上しています。 また、本町の懸案課題にも対応するため、狛田駅東特定土地区画整理事業の推進(3億1,800万 円)、生活道路の新設や道路改良工事(2億1,700万円)、打越台環境センターのごみ焼却炉補 修等工事の分担金(4,700万円)を計上しています。

また、特別会計では、国民健康保険事業で給付費関連経費が増加していることにより、会計予 算が増加となり、国民健康保険病院事業では、施設改修経費の減少により、会計予算の減少率が 大きくなっています。一方、公共下水道事業では建設事業費が増加したことや地方債の繰上償還 などにより会計予算が増加しています。

特別会計予算全体では前年度と比較すると、1.8%の増加となっています。



② そもそも「予算」って何なの?・・・・・・・・・・

🛕 1年間(4月1日から翌年3月31日まで)の収入と支出の見積りです。

新しい年度が始まる前に、1年間にどのくらいの収入があるか、その収入をもとにして、どのような行政サービスを行うかを計画し、その費用を見積ります。この見積りが「予算」です。

歳入 = 1 年間の収入

精華町のお財布 (会計) **歳出** = 1 年間の支出

町の収入の多くは町民の皆さまからの税金であり、予算とはそれらの税金の使いみちを示したものといえます。1会計年度内の収入を「歳入」、支出のことを「歳出」といいます。

🛕 今後1年間の行政サービスを計画的に行うために予算が必要です。

予算の執行権は町長にあり、この予算の執行が行政サービスの提供という ことになります。

予算の執行については、歳入と歳出とでは、その性質や効力の面で違いがあります。歳入予算は単なる収入の見込にすぎないので、予算額を上回る収入も可能ですし、また、予算額より少額の収入となることもあります。しかし、歳出予算は、成立した予算の目的にしたがって、予算の範囲内において執行されなければなりません。つまり、予算額を越えて支出をすることはできません。

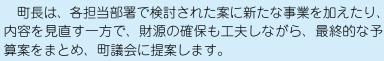


このように、予算による統制を働かせることにより、計画的に行政サービスを行うことができます。

予算って、どうやって決めているの?・・・・・・

A 町長が予算案をつくり、議会の審議を経て決まります。

まず、様々な行政サービスを受け持つ役場の担当部署が、その年の予算を作るにあたっての方針、関係する法律や条例、規則、そして各種の計画や町民の意見などに基づき、1年間の行政サービスを検討します。





町議会では提案された予算案について、町議会議員によりいろいろな面から審議したうえで、 町議会の議決により、予算を決めます。

A 当初の予算で見込んでいなかったことが起こった場合は、年度の途中で予算を変更できます。

例えば、1年の途中で台風などの自然災害により、急にお金を使わなければならないときなどは、予算を変える必要があります。このような場合には「補正予算」を作って、当初の予算を変更します。

もちろん、予算を変更する場合には、きちんとした理由説明が必要で、当初予算と同様に町議会での議決を経て補正予算を決定します。

🔃 予算が余ったときはどうするの?・・・

🔼 後年度の財源として基金に積み立て(貯金)をしています。

最初に見積りをしていた金額よりも実際には安く物を買うことができたなど、お金を節約できたことにより、予算が余ることもあります。そのようなときは、精華町では補正予算をつくり、余ったお金は後年度に必要となる費用に使うために、基金に積み立て(貯金)をすることにしています。

平成24年度に予定される主な事業

■ 地域に誇りの持てるまちづくり

国際化の推進(257万円)

関西文化学術研究都市にふさわしい国際化に対応したまちづくりを進めるため、米国オクラホマ州ノーマン市との姉妹都市関係を軸とした住民レベルでの交流促進を図り、国際理解講座やホームステイなどの事業実施に対する負担や、住民の海外体験助成や国際化プラン推進団体への運営助成を行うほか、英語版生活情報紙「いちご」の発行や、国のJETプログラムによる国際交流員の活動などの事業展開により、住民の国際交流や外国人の生活支援を推進します。

文化芸術の振興(116万円)

関西文化学術研究都市建設の理念を踏まえ、文化芸術の振興によるまちの活性化を目的に、本町の特色ある文化振興を図るため、地元関係団体と住民との協働により、舞台芸術を中心とする学研都市地域あげての文化事業にふれ親しむ機会を提供します。

「けいはんなふれあいコンサート」を府立けいはんなホールにおいて開催するとともに、役場庁舎交流ホールのパイプオルガンを活用した「精華町交流ホールコンサート」を開催するなどの文化振興を推進します。

せいか祭りの開催(700万円)

世代を越えた住民の交流と地域の活性化を促進するため、「せいか祭り」を開催し、地域や各種団体、世代間の交流を促し、まちの賑わいを創出します。



ナハか祭り

第5次町総合計画の策定(1,000万円)

「精華町第4次総合計画」の目標年次を平成24年としていることから、総合的かつ計画的な行政運営を図るため、これに続く「(仮称)精華町第5次総合計画」を策定します。(平成23年度と平成24年度の2か年継続事業)



未来の精華町のまちづくりを考える100人の集い

民生の経過に

男女共同参画社会の実現(146万円)

精華町男女共同参画推進委員会を開催し、「精華町男女共同参画計画」推進に関する検討・協議を 行うほか、平成22年度に策定した「精華町男女共同参画計画(後期施策)」に基づき啓発活動をさらに 進めます。

また、夫婦関係や親子関係の家庭問題、子育てなどの総合的な相談・支援体制の充実を図るた め、家庭支援総合相談事業(家庭こころの相談室)についての利用促進を図ります。

郷土の歴史の伝承と普及(1,539万円)

町内にある指定文化財や、収集した古文書・歴史資料、民 俗文化財、埋蔵文化財などの文化財の保存と活用を図ると ともに、埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内での開発に対して発掘 調査を実施するなど、保護のための措置を講じます。



いごもり祭り

27 環境共生のまちづくり



快適環境の保全、循環型社会の実現(2億8.325万円)

地球温暖化防止の取り組みとして、環境負荷の少ない電気自動車への切り替えを促し、二酸化炭 素の排出削減と環境問題の啓発に寄与することを目的として、(新)電気自動車導入費用を補助し、普 及促進を図ります。

また、公用車においてもその趣旨に即し、耐用年数の経過等により更新が必要な公用車について は環境へ配慮した車両へ切り替えることとし**、(新)電気自動車の公用車を1台、(新)ハイブリッド型** のごみ収集車を1台購入する予定です。

循環型社会の実現に向けては、企業や住民参画による環境啓発事業や環境シンポジウムを行うほ

か、環境基本計画の推進にあたり、環境推進委員会及び環 境プラットホームを開催することで、環境問題に対する住 民意識の高揚を図ります。

また、資源の有効利用設備購入費用に対する助成や古紙 回収事業実施助成、廃食油回収活動によってごみの排出減 量を促すほか、クリーンリサイクル運動の実施やごみの適 正な排出・分別収集によって快適環境の保全に努めます。

打越台環境センターの老朽化に伴うごみ焼却炉補修等工 事のため、相楽郡西部塵埃処理組合に対して、平成23年度 に引き続き所要の分担金を計上しています。



電気自動車

ながー -い、おつきあい。

貯める、運用する、借り入れる、 積み立てる、備える、管理する… 京都銀行は、人生のさまざまなシーンで 皆様を応援します。 お気軽にご相談ください。

飾らない銀行

精華町支店 京都銀行 TEL.0774(93)2300





精 華 支 店 🕿 94-2580 山田川支店 ☎72-8661 けいはんなプラザ支店 25 95-5131

里山保全モデルづくりの推進(12万円)

人と自然との共生をめざすまちづくりを展開するため、広く地域や住民に親しまれ、子どもたちが自然の恵みや自然の姿かたちを体感できる憩いの場となる里山保全、森林整備活動を継続的に維持する取り組みを引き続き進めます。

まちの情報化の促進(1億8,353万円)

精華町情報化基本計画策定事業では、平成23年度に実施した住民アンケートの分析結果を参考に、基本計画検討懇話会からの意見も受け、平成24年度に基本計画の改定を行います。

また、住民窓口サービスや事務効率のさらなる向上を目指し、窓口サービスを支援する基幹業務支援システムを運用して、安定した効率的な行政サービスを提供するため、情報システムなどの制度改正への対応や情報基盤設備の保守など適切な維持管理に努めます。

さらに、地域に密着した情報化の推進として、ITサポーター登録制度を活用し、交流スペースでのパソコン相談窓口の充実に加え、各地域へ出向いた巡回相談を充実させるなど住民が利用しやすい機会を提供するとともに、町が実施する各種の住民向けICT(情報通信技術)事業の運営補助や、住民ニーズの高いテーマの講座を実施するため、今後も引き続き団塊の世代や主婦層などの人材の掘り起こしや育成を進め、住民の情報リテラシー(情報処理能力)のより一層の向上を図るほか、情報発信基地としての機能を高め、地域の情報化と活性化にも役立てます。

都市基盤の整備(6億8,045万円)

まちづくりの根幹となる各都市基盤施設などの整備を進め、学研都市にふさわしい生活基盤づくり を進めます。

①道路整備(2億1,760万円)

道路では、周辺住民の生活の利便性向上や歩行者の安全を確保するため、歩道整備を行う菅井·菱田線や、府事業の煤谷川改修にあわせた菱田·前川原線などの整備、及び「狛田こばし」の架け替え工事の京都府への委託、下狛 10·11 号線の整備など引き続き道路整備を行います。

また、狛田駅周辺について、歩行者などが安全に通行できる機能を確保するための僧坊·前川線の整備や狛田駅東特定土地区画整理事業に伴う下狛地区排水路の改良工事を引き続き進めます。

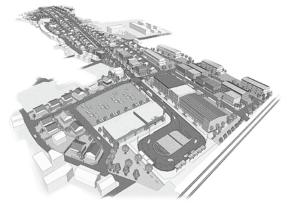
公共下水道の整備と併せた道路整備など、各地域での生活道路の改良も順次進め、くらしに根ざした視点での基盤整備を推進します。

②河川整備(1億4,400万円)

河川では、町事業として実施している煤谷川の準用河川部分(光台地区北端部分)の改修を継続し、 流下能力を高め、治水対策としての河川改修整備を進めます。

③狛田駅東特定土地区画整理事業(3億1,885万円)

町北部地域の玄関口として、狛田駅へのアクセス道路と交通駅前広場や宅地整地工事などの整備を行い、居住環境の利便性を高めるため、引き続き特定土地区画整理事業を推進します。



狛田駅東特定土地区画整理事業 (イメージ)

上水道・下水道事業(33億1,521万円)

①上水道事業の推進(14億8,033万円)

まちの温鉛盤

安全で安心な飲料水の安定した供給をめざし、水道施設の計画的な整備や維持管理の徹底と、公共下水道整備事業と同調した管更新工事や開発関連地区の配水管布設工事などの基盤整備を進め、上水道事業の長期的な安定経営を推進します。

②下水道事業の推進(18億3,488万円)

京都府の木津川上流浄化センターの供用開始(平成11年度)を契機として、木津川上流流域下水道事業(府施工)や、流域関連精華町公共下水道事業計画(町施工)に基づく幹線管渠の整備や面的整備を進め、健康で快適な生活環境の確保と、公共用水域の水質保全のために、都市としての重要な生活環境基盤である下水道整備を、引き続き推進します。

また、水洗化率の向上をめざし、公共下水道への接続を推進する啓発活動などにも引き続き取り組みます。

雨水排水路の整備では、平成21年度より既成市街地の浸水解消を図るため、雨水排水路整備に事業着手しており、引き続き雨水幹線の整備推進を図っていきます。

交通安全対策の推進(2,151万円)

子どもや高齢者など交通弱者や歩行者の安全を確保し、交通安全対策に目を向けた安全・安心のまちづくりを進めるため、交通安全灯やカーブミラー、通学路標識などの交通安全施設の整備と、運転手のマナー向上のための啓発活動を推進します。

また、児童の通学路安全対策として、引き続き交通指導員を配置します。

防災対策の推進・消防活動の充実(9,872万円)

防災対策の推進や警防・救急・予防の各種消防活動の取り組みにより、「安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくり」を進めます。

消防活動において、地域における防災拠点として重要な施設である(新)消防庁舎の建替えに向けて、 基本設計業務に着手します。

救急活動においては、災害現場や火災現場で必要な各種の救助資器材などを補充するとともに、 自主防災組織等との連携強化を図ります。

また、地域の消防力として重要な消防団が、住民の安全·安心を守るため、災害時の円滑な消防活動を実施するために必要な(新)消防団小型動力ポンプ付積載車(第3分団第3部)の更新を行います。

各自治会や自主防災組織等を中心とした、住民一人ひとりの防災能力の向上を図るとともに、住民を災害から守り、日常的な備えのため、防災訓練を実施し、防災意識の啓発に努めます。

将来に予測される大規模地震時における人的・物的被害を最小限にとどめるため、町内の建築物の

耐震化を推し進めるため、京都府の補助制度 を活用しながら、木造住宅の耐震診断や木造 住宅の耐震改修工事を実施する方に対して、 費用の一部を引き続き助成します。

国、京都府などの防災計画見直しと連動した町地域防災計画の見直しを行うために必要な基礎的な調査を進めます。



防災訓練

日子どもを育むまちづくり



子育て支援の充実(9億3,206万円)

「こどもを守る町」精華町として、子育て支援の取り組みを継続し、子どもを守り、育てるまちづく りを推進します。

小学校卒業までの医療費無料化の継続により子育て家庭の経済的負担を軽減し、病気中や病気回復

期の児童(病児·病後児)を専用施設で一時的に 預かる保育事業によって子育てと育児の両立を 支援します。

また、子育で支援センターでの各種教室事業を中心に、つどいの広場やおもちゃの広場など親子で集える場を提供することで、子育で情報の交換や親子の交流を促進するほか、児童相談員の配置により子育ての悩みに対する助言・指導を行い、子育てしやすい環境づくりを推進します。

なお、子ども手当(児童手当)については、国の制度動向に対応した予算を計上しています。



子育て支援

児童福祉の充実(9億5,294万円)

児童に対するきめ細やかな事業で、子どもたちにとって住みよい快適な環境づくりを進めます。

子育てと仕事の両立支援と乳幼児の健全育成を図るために町立5保育所を運営します。保育所では、世代間交流事業や園庭開放などの地域交流活動により、子どもたちの健やかな成長発達に寄与し、保護者が安心して子どもを預けられる保育内容・保育環境の維持充実に努めます。

小学校児童についても、町内5小学校内に設置している放課後児童クラブに加え、かしのき苑、光台近隣センターでの民間運営を継続し、保護者が安心して預けられる環境づくりに努めます。

なお、平成23年度に新ほうその保育所が完成したことに伴い、旧ほうその保育所の解体工事を行うほか、狛田駅東特定土地区画整理事業に伴い、こまだ保育所の園庭改修工事を実施します。

安全で安心な子どもの居場所を確保するため、放課後や週末等に、地域の方々の参画を得ながら、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流など、(拡)精華まなび体験教室の取り組みを主に学校の敷地内において進めます。平成24年度は、新たに山田荘小学校を加え、町内全小学校での実施を目指します。

母子保健の充実(8,090万円)

妊娠期から幼児期における期間の母子の健康保持を目的に、妊婦健診公費負担(14回)の継続実施、パパママ教室など各種教室や新生児・乳児訪問の展開によって、出産・育児に関する経済的負担・心理的負担を軽減し、子どもを産み、育てやすいまちづくりを推進します。

不妊治療に要する経費助成についても、平成23年度に助成限度額を引き上げ、保険適用外経費の 一部を助成対象とした内容を継続します。

また、感染病予防の対策の一環として、ワクチン接種の促進及び普及啓発を図るため、ヒブワクチン予防接種·小児用肺炎球菌ワクチン予防接種の費用助成を継続し、乳幼児期の子育ての支援を図ります。

がん予防対策の一環として、子宮頸がん予防ワクチン接種費用の助成も引き続き行います。

まちの温み生

学校教育の振興(3億1,126万円)

すべての児童・生徒が、心豊かに楽しく健康に学校生活を送れるよう、修学旅行や芸術鑑賞などへ の助成を行います。スクールカウンセラーや学級支援員、図書館司書などの配置により、学校教育 の充実に努めます。

また、本町独自の教育の振興を図るため、府立けいはんなホールでの小・中学校文化交流会や、府 立山城総合運動公園(太陽が丘)での小学校陸上交歓会の開催など、児童の健全育成に向けた文化・ス ポーツの交流活動を実施するとともに、学校の伝統や校風、地域の実情に応じた創意ある教育活動 の展開を通じ、魅力ある学校づくり、特色ある学校づくりを推進するための取り組みを支援しま す。

学校教育における外国語指導やコミュニケーション活動の強化を図るため、引き続き国のJETプロ

グラムによる外国語指導助手を1名任用します。また、小学 校の外国語活動は、平成23年度から学習指導要領で正式に 位置づけられたため、今年度についても継続して取り組みま

教育委員会としての食育の取り組みの一環として、特に、 学校給食を含めた(新)子どもの食のあり方についての検討を 幅広く進めていきます。



精華町小中学校文化交流会

学校施設整備の推進(4億5,883万円)

教育環境の改善と充実を図るため、各学校での施設整備を行い、教育施設の基盤整備を進めます。 また、学校施設の耐震化を進めるため、平成23年度に策定している精華中学校校舎の耐震化対応(改 築)に向けた基本構想に基づき、**(新)精華中学校校舎改築等基本設計業務に着手します。**

今後も教育施設の老朽化や耐震化対応など、各学校施設の改善等が迫られていることから、学校建 設基金の運用など、計画的な財政運営を行うことで、これらの将来的な財政需要に対応します。

私立幼稚園との連携(6.659万円)

私立幼稚園に通園させている保護者に対して、就園奨励費の給付や幼稚園通園補助を継続して実施し ます。特に、町内には公立幼稚園が無いことから、園児保護者への助成を行うことで、負担の軽減に努め ます。

さらに、町内私立幼稚園に対しては、運営の安定化を促進するため、運営費の一部助成を行います。

4 健康長寿のまちづくり

健康づくりの推進(1億2.073万円)

健康増進法に基づき各種のがん検診を実施し、国の補助制 度を活用した節目年齢対象者への受診促進や検診登録制度の 啓発等により、受診率の向上に努めます。

また、検診(健診)から特定保健指導や健康教育事業への展 開につなげることで、病気予防や健康づくりを推進し、健康 長寿のまちをめざします。

さらに、(新)健康づくりのための基本的な指針となる第2期 健康増進計画を策定します。



健康講座



地域医療活動の実施(精華病院の運営)(1億6,704万円)

医療法人医仁会を指定管理者とし、民間活力を導入した精華病院の管理・運営を推進します。また、住民の健康を守る病院施設として必要な施設機能の維持のため、改修工事に向けた設計を行います。

障害者福祉の充実(4億6,076万円)

障害者の自立と、社会参加の促進及び経済的負担の軽減等により障害者福祉の充実を図ります。障害者自立支援法に基づく各種給付事業や、地域での社会活動参加を促進するための各種サービス事業を実施します。

高齢者福祉の充実(6億3,153万円)

健やかで活力ある長寿のまちづくりを推進するため、 高齢者やその家族等の経済的負担を軽減するための医療 費助成や給付事業のほか、福祉事業所との連携により在 宅生活支援など住み良い環境づくりのための各種サービ ス事業を継続して実施します。

また、高齢者の雇用創出や生きがいづくりを目的としたシルバー人材センターの運営助成や老人クラブ助成を継続するほか、高齢者への敬意を表し長寿を祝福するために敬老会を開催します。

また、介護保険事業特別会計や後期高齢者医療制度に 必要な経費として、保険給付費や医療費負担の所要経費 の繰り出しを行います。



精華町敬老会

地域福祉ネットワークの推進(140万円)

地域福祉計画を実践するネットワーク組織を支援するための助成を行うほか、地域福祉を推進するための懇談会やフォーラムを開催して地域住民の意識高揚を図り、行政と地域住民が一体となった三世代が支えあうまちづくりを目指します。

生涯学習・生涯スポーツの推進(1,931万円)

住民の学習意欲の高まりに応え、生涯学習を通じて、より豊かで充実した生活を送っていただけるよう、家庭の教育力向上を支援する教室や、情報化社会に対応した教室、高齢者向けの講座などを開催するなど、さまざまな学習機会を提供するとともに、自主的な活動の育成を進めるなど、生涯学習の充実と推進を図ります。

また、本町の文化・スポーツの向上と発展に貢献のあった個人や団体に対して表彰を行い、文化・芸術の創造への意欲の喚起やスポーツ競技力の向上など、

文化・スポーツの振興と発展を図ります。

生涯スポーツの普及・振興を進めるとともに、住民の 健康促進と交流を図るため、気軽に参加できる教室として、少年少女を対象としたスポーツ教室や、中高年齢者 向けの健康スポーツ教室など、さまざまなスポーツを体 験する機会を提供します。

さらに、スポーツ団体との連携を図り、必要な育成や 支援を実施します。



町民体育大会

図書館活動の充実(7.176万円)

生涯学習を支える拠点として、住民の教育と文 化の向上を助け、暮らしに役立つ図書館を目指 し、積極的に利用していただけるよう、図書、視 聴覚資料の充実を図るとともに、利用しやすい環 境の整備とサービスの向上に努めます。

また、文学講座などの読書推進事業や移動図書 館車の運行など各種行事を通じて、住民のふれあ いづくりを進めます。

さらに、障害者や高齢者など来館が困難な方々 を対象とした図書の宅配サービスを継続して実施 します。



図書館親子手作り教室

日 経済活性化のまちづくり

新産業創出の支援(5.846万円)

自立的な地域経済の発展を図る観点から、学研 都市を活用した産業振興を積極的に推進するた め、学研都市としてのPRや企業誘致活動を展開 します。

また、地域経済の活性化と雇用機会の創出を図 るため、企業立地促進条例に基づく支援制度によ る立地企業への助成を継続し、企業の立地を積極 的に推進します。

京都府や関西経済連合会、さらには地元3市町な どの資金負担により、けいはんなプラザ・ラボ棟 内に設置されている「新産業創出交流センター」へ の参画を継続し、学研都市内に立地する企業の支



企業誘致の促進

援機能を確保するとともに、それらを活用した積極的な企業誘致活動の展開を行うことで、産業化 支援やベンチャー企業誘致などを一体的に行い、町の活性化に引き続き取り組みます。

既存産業の振興(1,899万円)

商工業を中心とした経済の活性化を図るため、その中心的活動組織である商工会への運営助成 や、京都府の融資制度との連携のもとに保証料補給及び利子補給などを継続し、活気とやすらぎの あるまちづくりを進めます。

農業基盤の整備(490万円)

地元区、水利組合及び川西土地改良区などが行う土地改良施設の維持修繕や改良工事に対して補 助を行います。また、農道や農業用水路などにおける国費・府費認定外の災害発生時に、復旧工事や 資材購入に対しての補助を行います。

農業農村活性化の推進(1.852万円)

町農業委員会と連携を図り、生産性と効率性を高めた農業の確立や農地の有効利用等地域農業の振興を推進します。また、精華町独自のブランド認定制度の継続や(新)新規就農者や農地集積協力者に対する支援を行うことにより担い手農家の確保、育成などの事業を推進し、都市と農村の共生のまちづくりを展開します。

さらに、廃ビニール等の分別回収に係る助成の継続、戸別所得補償制度の推進や農業活性化に向けた活動の拠点となる地域資源総合管理センター「華工房」において、地元農産物を加工した特産品の開発や販路の拡大などに努め、農業振興に取り組みます。



農業塾

雇用機会を創出して人材の活用促進(7,441万円)

景気の落ち込みや失業者の増加など社会経済情勢に対応するため、地域における専門的な資格や経験を有した人材の臨時職員等への雇用により、雇用機会の創出に努め、住民生活の支援と安定を図るとともに、町職員の時間外勤務にかかる人件費を抑制して、効率的な行政運営と人材活用を促進します。

6 学研都市広域連携のまちづくり

学研都市の広域連携の推進(750万円)

地元関係市町で連絡会を構成し、学研都市建設推進に関わる要望活動やPR活動を展開し、 広域的課題の解消を図ります。

また、けいはんな学研都市活性化促進協議会へ参画し、学研都市における広域的な文化、学術研究等の活動を促進し、地域の活性化に取り組むことで、地域全体の価値を高め、自立的な自治体経営を展望し、学研都市における広域的な文化・学術研究等の活動を促進します。



けいはんな日時計 (けいはんなプラザ)

ふるさとづくり寄附金の活用

平成22・23年度にご寄附いただいたふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)を財源として、 ご希望いただいた事業について、下記のとおり実施します。

- ■子どもを育むまちづくりに関する事業(102万円) 保育所備品(組立式プールを予定)を購入します。
- ■健康長寿のまちづくりに関する事業(50万円) 町の健診事業などで広く活用する備品などを購入します。

情報発信、情報提供の推進(1.729万円)

情報公開を積極的に進めるため、広報誌「華創」と町ホームページを活用し、的確な情報提供に努め、住民向け行政サービスを一覧にまとめた「住民手帳」と、町の活性化に向けてまちの魅力を発信する「町勢要覧」の時点修正を行います。

また、行財政運営のPDCA(計画・実行・評価・見直し)サイクルの確立を目指し、財務会計システムとリンクした行政評価システムを活用し、平成23年度決算事務にあわせ、事務事業及び事務事業をとりまとめた施策の2階層による行政評価を実施します。



さらに、自治体で取り組むべき「新地方公会計改革」にも対応し、本町の財政運営に効果的で、より正確でわかりやすい財務情報を住民に提供するため、公認会計士など専門家の支援を受けながら、財務諸表の作成に努めるほか、町財政の状況や財政運営の方針をわかりやすく住民にお知らせするため、「予算・決算のあらまし」を発行します。

総合窓口等の向上(331万円)

庁舎の基本理念の一つである「住民サービスと事務効率の向上」の一環として、ワンストップサービスのための総合窓口を実践します。

さらに、待ち時間の短縮や週休日でも対応できる自動交付機による証明書発行を庁舎で運用します。また、町南部地域では桜が丘地区(エスペローマ高の原)の証明書自動交付機の利用時間延長を図り、町北部地域では、下狛郵便局との連携による証明書発行を継続し、住民の利便性確保に努めます。



民生の経過に

相楽応急診療所の開設(370万円)

相楽郡各市町村の連携により、(新)相楽郡広域事務組合を主体として「相楽応急診療所」 を開設します。山城南医療圏における日曜日、祝日、年末年始などの休日において、応急 的な診療提供を目的とし、診療所の設置・運営に要する所要の負担金を計上しています。

町内交通対策の推進(2.850万円)

住民が利用する公共施設・公共交通機関へのアクセス確保と、 町内の移動の円滑化を図るため、コミュニティバスの実証運行 を継続します。また、地域公共交通会議において、これまでの 実証運行や利用者等の意向調査の結果について検証を行うな ど、町内におけるバス交通全体の利便性向上を目指します。



精華くるりんバスの運行

FUJI Xerox 🕥

富士ゼロックスシステムサービスは IT化する自治体様を強力サポート。 さらなる住民サービス向上を目指します。

富士ゼロックスシステムサービス株式会社

公共システム事業部 営業統括部 関西支店 TEL 06-6225-0390 900-17:30

平田内科医院

◆消化器科◆循環器科◆一般内科 平田真人・平田理佳

日・祝日休診 駐車15台可

光台近隣センター南 Phone:0774 95-3400

川京都やましろ 精華町支店 便利で安心! JAバンク

精華町祝園駅西1丁目31-5

TEL 0774-94-2103 FAX 0774-94-5739

Down

WP)

WP)

Down

0.2%

民生費 9.0%

商工費 14.2%

97,035円

町民一人あたりでみる今年の予算

町民一人あたりでみる目的別の支出状況



精華町の今年の予算を町民一人あたりで見てみよう!!

※金額は平成24年4月1日現在の総人□(36,866人)で割ったものです。 増減率は平成23年度町民一人あたりでみる予算と比較したものです。

MP)

2.0%

Down

6.8%

議会費 11.2%

Down

Down

UP

34,315円

総務費

平成23年度 106.662円

4.342円

平成23年度 4.890円

衛生費

26,070円

平成23年度

27,176円

土木費

農林

水産業費

平成23年度

平成23年度 33.629円

2,106円

2.260円

消防費

Down 17.9%

12,503円

平成23年度 15.226円 35,407円

教育費

2,627円

平成23年度

2.300円

平成23年度 35.170円

51,188円

平成23年度 49.801円

公債費

Down 43.6%

551円

その他

平成23年度 552円

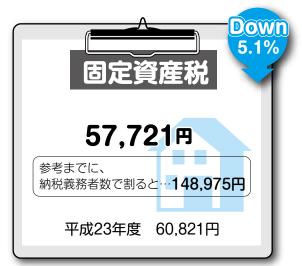


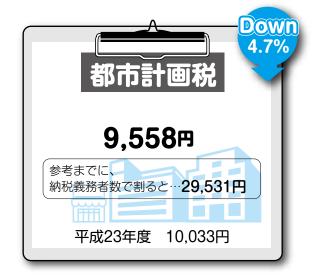
46.339円

平成23年度 82.112_円

町民一人あたりでみる 町税負担の状況







增減率(%)

平成24年予算額 ×100 -100平成23年予算額



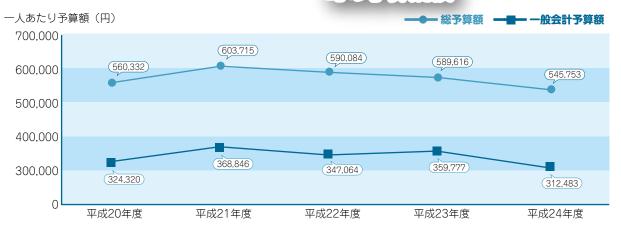






他にもいろいろ見てみよう

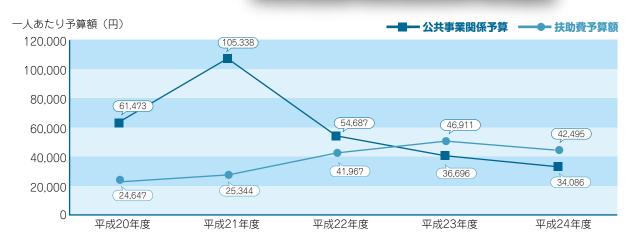
町民一人あたりでみる 町の予算規模



平成24年度の予算を町民一人あたりにすると、一般会計で312,483円、特別会計を含めた総予算では545,753円となります。一般会計について経年比較をすると平成23年度までは増額傾向にありましたが、平成24年度はやや減少となっています。

特に、歳入面においては、税制改正による町民税の増加は見込んでいるものの、経済危機や長引く景気の低迷を背景にした住民所得の伸び悩みを避けられず、国家財政の破綻的状況の影響から、国や府からの補助金も減少しており、さまざまな事業を実施するにあたっての財源確保が困難な状況です。財源不足分を多額の基金で補てんしている状況から考えても、きわめて厳しい町財政運営に迫られています。

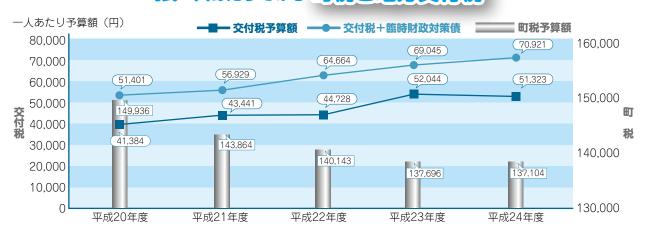
町民一人あたりでみる 町の公共事業と社会保障給付費



平成24年度の一般会計予算のうち、公共事業に関する経費(普通建設事業費)は12億5,661万円で、町民一人あたりにすると、34,086円となります。一方、一般会計で行う社会保障給付費(扶助費)は15億6,661万円であり、町民一人あたりにすると、42,495円となっています。

このグラフからもわかるように、公共事業が減少傾向である一方で、社会保障給付費 (扶助費)が増加傾向であることがわかります。特に、ここ2年間においては、公共事業よりも扶助費の負担が大きくなってきており、インフラ整備が一定の水準に達してきていることを背景に、施設整備などの公共事業から医療・福祉・子育てなど住民に直結するサービスへと行政需要が変化していることがわかります。しかしながら、公共事業においても、これまでに整備した施設等の維持管理経費の増大や老朽化に伴う建替え等の対応が余儀なくされており、今後も厳しい財政状況が続くことが懸念されます。 扶助費の割合が増えてきていることは、 福祉医療や子育でのサービスも 充実してきている町なんだね。 民物の経過

町民一人あたりでみる 町税と地方交付税



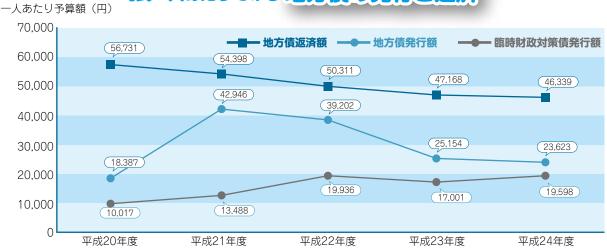
平成24年度の予算額のうち、町の収入の44.0%を占める町税は50億5,448万円で、町民一人あたりにすると137,104円であり、また、地方交付税額は18億9,208万円で町民一人あたりにすると、51,323円となります。

グラフをみると、町税が減収傾向にある反面、地方交付税及び地方交付税+臨時財政対策債の金額は増額傾向にあることがわかります。これは、地方交付税には各地方公共団体の税収入の均衡化を図る財源調整の機能があるためです。しかしながら、国においても地方交付税の原資となる国税の減収が避けられないため、その不足分については各地方公共団体において「臨時財政対策債」を発行するしくみとなっています。

この臨時財政対策債ですが、償還に要する費用については後年度の地方交付税で算入されるため、地方交付税の代替財源といわれていますが、「地方債」であることに変わりはありませんので、本町の債務残高を累増させる原因の一つとなっています。

町税もだん だん減ってき ているね。

町民一人あたりでみる 地方債の発行と返済



※縁故債(銀行等引受債)借換分を除く

平成24年度の予算額のうち、今年度に借りる地方債の金額は8億7,090万円であり、町民一人あたりにすると23,623円となります。一方、これまでの借金を返済するために平成24年度に支出する額は17億835万円となっており、町民一人あたりにすると46,339円になります。

グラフをみてみると、地方債の発行額が年々減少傾向となっていることがわかりますが、これは、町の投資的事業が減少していることが背景にあります。しかしながら、地方債の内訳の一つである臨時財政対策債については、増額傾向であることがわかります。

本町では、過度の負担を後世代に先送ることのないよう、引き続き「持続可能な財政運営」を実行するために、新規の地方債発行額を年度内に償還する元金額の範囲内にとどめるなどの公債費適正化対策を実施していきます。





精華町の中期財政見通し(平成24年度~平成29年度)

平成24年3月作成

(単位:百万円、▲はマイナス)

(表1) 精華町の中期財政見通し(予算ベース)

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	町税	5,054	5,080	5,105	5,131	5,156	5,182
	譲与税・交付金	521	573	573	573	573	573
歳	地方交付税	1,892	1,873	1,854	1,834	1,816	1,796
入	国府支出金	1,649	2,001	2,141	2,183	2,127	2,174
	地方債	871	1,000	1,300	1,387	1,009	1,000
	その他	1,097	1,097	1,197	1,197	1,097	1,097
	Α	11,084	11,623	12,169	12,305	11,778	11,822
	人件費	2,352	2,362	2,367	2,335	2,356	2,345
	(参考)職員人件費	2,169	2,179	2,184	2,152	2,173	2,162
歳	扶助費	1,567	1,636	1,707	1,782	1,860	1,942
出	公債費	1,708	1,617	1,636	1,629	1,530	1,483
	普通建設事業費	1,257	1,898	2,398	2,398	1,898	1,898
	その他	4,636	4,497	4,407	4,363	4,319	4,276
	В	11,520	12,010	12,515	12,507	11,964	11,944
Ц	双支不足 A−B	4 436	▲ 387	▲ 346	▲ 202	▲ 186	▲ 122

◆財政見通しの推計における前提条件

(歳入)

- ①平成24年度は、当初予算ベースで計上した。ただし、赤字補てん分の財源としての財政調整基金等からの繰入金(436百万円)をその他から差し引いた。
- ②町税は、現行の税制度を前提とした。町民税はやや回復基調を見込み推計した。
- ③地方交付税は、平成24年度予算をベースに町税と連動して推計した。
- ④国府支出金は、扶助費と普通建設事業費に連動して推計した。
- ⑤地方債は、普通建設事業費に連動して推計した。(平成27年度及び平成28年度に借換債を予定している) (歳出)
- ①平成24年度は、当初予算ベースで計上した。
- ②人件費は、議員等報酬も含み、現行の給与制度をベースに定期昇給率を補正し退職者補充を見込んで推計した。
- ③扶助費は、平成24年度予算をベースに近年決算の推移(伸び率など)を加味して推計した。
- ④公債費は、現行の償還計画(既発行分に係る元利償還)に基づく所要額と新規発行分を見込み積算した。(平成27年度及び平成28年度に借換債を予定している)
- ⑤普通建設事業費は、近年の実績をベースに精華中学校校舎改築等事業費を見込み積算した。

(表2) 基金残高及び債務残高の推計(各年度末時点における残高)

(名と)を並え同父の自然な同の推論(日本反本時点にのける方向)(単位:百万円							(単位:百万円)
		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	財政調整基金	543	506	469	432	395	358
	減債基金	47	47	47	47	47	47
	その他特定目的基金	1,875	1,625	1,275	925	675	425
基金	残高合計	2,465	2,178	1,791	1,404	1,117	830
	地方債	14,653	14,250	14,126	14,181	13,878	13,609
	債務負担行為	4,949	4,415	3,881	3,347	2,813	2,280
債務残高合計		19,602	18,665	18,007	17,528	16,691	15,889

精華町の中期財政見通しの解説

まちの温鉛盤

平成24年3月に、精華町の中期財政見通し(右のページの表1と表2を参照)を策定しました。一 般会計を対象として、平成24年度予算をベースに、平成25年度から平成29年度までの5か年度を推 計期間として、本町の将来的な財政収支を見通すために策定したものです。国の財政事情や経済状況 など地方を取り巻く先行きの不透明な背景もあり、長期的な展望や見通しは困難ですが、策定時点に おいて把握可能な数値を複数用いることによって推計しています。

平成24年度の予算ベースで、4億3.600万円の収支不足が発生し、財政調整基金などの取り崩しに よって不足分を補っている厳しい状況ですが、公債費適正化に向け債務残高の減少に取り組みなが ら、平成25年度以降の5か年度で、収支不足を7割程度解消する見通しです。今後も財政健全化の取 り組みを継続しながら、現行の住民サービスの水準を可能な限り維持するためには、事業の選択と集 中の一層の強化が必要です。

歳入の見通しについて →右のページ表1参照 1

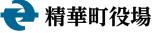
町税については、現行の税制度を前提として、住民税は緩やかな回復基調を見込み、固定 資産税も今後の積極的な企業誘致活動の推進などによる効果を見込みやや回復基調を見込ん でいます。歳入総額として、平成27年度と平成28年度の借換債(地方債)の影響を除くと、 平成25年度以降の5か年度に、約116億円から119億円前後で推移するものと見込んでいま す。

歳出の見通しについて →右のページ表1参照

人件費は、現行の給与制度をベースに、団塊の世代の退職者補充なども見込んで、約23億 円程度で推移する見通しです。医療や福祉などに係る扶助費は、制度対象者の増加などに伴 い、今後も増加する傾向が顕著です。歳出総額として、平成25年度以降の5か年度に、約 120億円から125億円前後で推移するものと見込んでおり、各年度においては収支不足額が 生じています。

- 基金残高の見通しについて →右のページ表2参照 3
 - 平成16年度末で約58億円保有していた町の基金ですが、この間の繰上償還の財源や、実質 的な歳入不足の補てん、教育施設の整備や土地区画整理事業などの課題事業に対応するため に、その残高を大きく減らし、今後も特定目的基金を中心に残高は減少する見通しです。課 題事業の計画立案の際には、財源確保に目を向け、必要となる財源を先行して基金に積み立 ててから、事業に着手するなど、計画的で安定した財政運営に努めます。
- **債務残高の見通しについて** →右のページ表2参照 投資的事業の計画を見直し、新規の地方債の発行額(借入額)を、年度内に償還する元金額(返 済金)の範囲内に抑制することなど、公債費適正化対策を継続していることから、地方債残 高と債務負担行為に基づく今後支出予定額の債務残高合計は、中期的には順調に減少してい くものと推計しています。

本紙への広告掲載の お問い合せ先



総務部 財政課 財政管理係 **2**0774-95-1914





平成 24 年度『予算のあらまし(まちの羅針盤)』の発行にあたって

新年度を迎え、各事業のスタートにあわせて、今年も『予算のあらまし』(平成24年度予算版) を作成いたしました。

この『予算のあらまし』の作成は、毎年10月に発行している『決算のあらまし』とあわせて、住 民の皆さまに本町の財政事情を公表する取り組みの一環として、平成16年度予算より継続して取り 組んでいるものです。町議会での議決により決定しました平成24年度の町予算の内容を中心に、今 年度に取り組む主な事業をはじめ、これからの本町のまちづくりに大きな影響を与える財政状況 や、予算の概要を、イラストやグラフなども活用して、できるだけ分かりやすくお伝えしたいと工 夫しながら、本誌の作成に取り組んでいます。

さて、昨年の東日本大震災から、一年が経過いたしました。今なお行方不明の方々、そして残さ れた家族の方々、いつ戻れるのか見通しの立たない避難住民の方々、とりわけ、記録的な寒さと なったこの冬を仮設住まいで越された方々、仕事を失い、生活再建のめどが立たない多くの方々、 被災地を覆う不安に思いを馳せるとき、「春なお遠し」と言わざるをえません。

一方で、この一年、多くの日本人が、人と人の絆の大切さを語り合いました。家族や地域の絆は もちろん、多様な人と人の絆の大切さが、改めて見直されました。昨年、私は、三期目を迎えるに あたり、この「絆」にこそ拠って立ち、「命を大切にする町政」を進めたいと決意しました。

国の債務残高がいよいよ1,000兆円を越えるなか、我が国の財政は破綻的状況にあります。本町 の財政においても、国や府からの補助金や交付金の減少は避けられず、財源の継続的な保障という 観点からはその確実性が弱まってきています。また、昨今の不況を背景とした所得の逓減が、町税 収入においても大きく影響を及ぼしています。不足する財源を基金の取り崩しに依存せざるを得な い状況が継続しており、財政の健全化に向けた行財政改革の取り組みを定着させる必要があるなか で、費用対効果などのコスト感覚を伴った、効率的かつ効果的な行財政運営が求められています。

景気好転の兆しが見えないなかで、依然として厳しい財政状況でありますが、医療や介護、福祉 などの現行の行政サービス水準の可能な限りの維持に努めつつ、小学校卒業までの通院医療費無料 化の継続や、精華中学校の校舎改築のための基本設計、消防庁舎建替えのための基本設計、電気自 動車導入補助制度創設、狛田駅東地区特定土地区画整理事業の推進など、公約実現や重点化政策な どの懸案課題の具体化に向けて、これまでの行財政改革の取り組みを継続するなかで、選択と集中 型への転換をより一層強化し、平成24年度予算の編成を行うことができました。

今後も、より質の高い行政サービスの実現をめざし、町民の暮らしを守るため、本町が目指しま す「人、自然、科学を結ぶ 学研都市精華町」の実現に向けてまい進し、「ふるさとは"ここ(精 華町)"と誇れるまち|を築き上げられるよう、いかなる困難にも立ち向かい、「『命と希望をつ なぐ』まちづくり」に全力で取り組んでまいりますので、引き続き皆さまのご理解とご協力をお願 いいたします。 精華町長木村安

平成24年4月

精華町の財政状況公表資料



行 … 平成24年4月 精華町役場 総務部 財政課

所 … 〒619-0285 (個別番号) 住

京都府相楽郡精華町大字南稲八妻小字北尻70番地

L … 0774-95-1914 (財政課ダイヤルイン)

A X ··· 0774-93-2233

ホームページアドレス … http://www.town.seika.kyoto.jp E - m a i I ··· zaisei@town.seika.kyoto.jp

刷 … 株式会社 昭文社

